

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川溪谷で V 字谷になる一風変わった川である。この溪谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。

ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

**有馬川** 有馬町の太閤橋の上流で滝川と六甲川が合流し、有馬川の基点となる。ここから北上して途中有野川を合せて流れ、神戸市北区道場町生野で武庫川に合流する。本川延長約 10km、支流を合わせた流域面積 81.7km<sup>2</sup>の武庫川第二の支流である。

**滝川** 六甲山旧極楽茶屋付近から紅葉谷を流下して鼓ヶ滝を経て有馬温泉に至る。

**六甲川** 六甲最高峰から流下し瑞宝寺谷、瑞宝寺公園を経て有馬温泉に至る。

**有馬温泉** 道後、白浜と並ぶ日本三古泉の一つ、温泉(とうせん)神社に祀られる大己貴命(オムナチミコ・大国主命)、少彦名命(スナヒコナミコ)が神代の昔に 3 羽のカラスに導かれて発見されたと伝えられている。日本書紀によれば 7 世紀に天皇が行幸されたという。

奈良時代の 8 世紀には僧行基が温泉を開き、温泉寺などを開創され、有馬温泉の基礎を作られた。その後 11 世紀末に大洪水があり、温泉は荒廃した。鎌倉時代の 12 世紀になると、大和吉野の僧仁西(にんさい)が熊野権現の夢のお告げで有馬に来て温泉を再興した。この時吉野から連れてこられた人たちに 12 神将に因んで 12 の坊を営ませた。今でも有馬温泉には〇坊という旅館が多い。16 世紀には戦火と大火により有馬温泉は壊滅状態になった。しかし太閤秀吉が有馬温泉を訪れて手厚い保護を与えた。泉源の保護、六甲川の付け替え、などを行い、洪水から泉源と町を守った。行基、仁西、秀吉は有馬温泉の三大恩人といわれる。

**太閤橋** もと太古橋。昭和 3(1928)年滝川を暗渠にして路線拡幅を行ったが、この上流部にあった太古橋を下流の延年橋の位置に移築した。この暗渠で昭和 13 年の阪神大水害では有馬町に大きな被害をもたらした。湯けむり広場に太閤像が上流の六甲川にかかるねね橋の北詰にあるねね像と対向している。

**善福寺** 行基菩薩の開創、仁西上人再興の寺、本堂は 14 世紀鎌倉時代の建築。本尊は阿彌陀三尊仏で天竺伝来と伝えられ多田源氏の祖満仲かの守り仏であったといわれている。国の重要文化財の聖徳太子立像も安置されている。境内には樹齢 200 年を超える一重の枝垂れ桜

は「糸桜」と呼ばれている。「神戸の名木」に指定されている 4 月中旬が見頃。有馬温泉バスセンター前に位置し妙見寺への登山口である。

**落葉山** 有馬三山(灰形山、湯槽谷山)の一つ。標高 593m。北西峰 526m、西峰 510m の三つのピークがある。展望はすばらしい。落葉山の名前の由来には有馬温泉中興の祖僧仁西が蜘蛛に導かれて有馬に来たとき、突然現れた老人が落ち葉を撒きこを掘れと言ったという伝承がある。

**妙見寺** 落葉山山頂近くにある。日蓮宗落葉山妙見寺。もともと落葉山には南北朝時代に築かれたといわれる城郭があった。落葉山城(別名・有馬城)と呼ばれたこの城は、築城者は明らかではないが、南北朝時代には南朝方の武将・湯山左衛門三郎が守将を務めていたといわれている。戦国時代に入ると、室町幕府三管領のうちのひとつ・細川家の重臣で、一族の畿内進出の礎を築いた三好之長の息子・三好政長が落葉山城を抑えて播磨や丹波を窺う勢いを見せていたが、天文 8(1539)年に三木城主の別所家直の攻撃を受けて敗走した。その後、三田城の有馬村秀が別所氏の支城となっていた落葉山城を攻略して城主を務めていたが、天正 7(1579)年には織田信忠によってが攻め落とされた。落葉山城跡に妙見寺が建立されたのは明治 39(1906)年のこと。妙見堂には、1873 年に廃寺になった真言宗の寺院・金杖山金剛寺の本尊北辰妙見大菩薩尊像が祀られている。

**太陽と緑の道** 神戸市自然歩道「太陽と緑の道」は、昭和 47 年、神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された。六甲山から帝釈・丹生山、そして雌岡山まで、北区・西区の太陽と緑豊かな地域を中心にしたハイキングコースで、現在、47 コースあり、総延長は約 176km となっている。

**有馬街道** 兵庫湊(神戸市)から有馬温泉につながる古い街道。

**カヤ越峠** 有馬街道の有馬温泉に入る峠。標高 395m。

**神戸水道道** 途中にある長い怪談は神戸市水道の千苺浄水場から北区内に送水する水道管の道にある。

**高丸山** 標高 509m。麓の有野台団地の住民の毎日登山の山となっている。

**五社八幡神社** 創建不明なるも、元弘 3(1333)年赤松円心が摩耶山に本拠を構えた頃北摂丹波路からの襲撃に備えるためこの地に山城を築き荒廃した八幡社を復興し戦勝を祈願したといわれる。。その後天正時代(1573~)三木城主別所長治の臣小野義晴が切畑城を築き同神社境内に居館を築いたが、天正 6(1578)年豊臣秀吉の三木城攻めの際荒木村重等に攻められ兵火にかかった。その後村民がご神体を奉置して再建した。五社の地名は横長の鞆堂内に社殿が五社並んでいたところからといわれている。

**神戸電鉄五社駅** 明治 3 年神戸有馬電気鉄道三田線開業と同時に開業。

**五社温泉** 五社駅前にある。泉源は有野川の高架下で有野川に流れる。

**有野川** 有野川は六甲山旧極楽茶屋付近を源流とし、奥山川として流下し、北上して道場町道場で武庫川第 2 の支流有馬川に注ぐ。途中の溪流を蓬山峡と呼ぶ。